

指標一覧

目標① 交通モードの役割に応じた最適なネットワークの形成

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 1-1 住民1人当たりの公共交通利用回数			
i 鉄道	26.7(回/年・人)	26.7(回/年・人)	毎年
ii 路線バス	32.8(回/年・人)	32.8(回/年・人)	毎年
iii 地域内交通	0.07(回/年・人)	0.07(回/年・人)	毎年
iv 一般乗用タクシー	9.7(回/年・人)	9.7(回/年・人)	毎年
指標 1-2 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合	79.9%	79.9%	計画更新時

目標② 安心・快適に利用できる公共交通サービスの構築

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 2-1 公共交通利用者の満足度	29.6%	35.6%	計画更新時

目標③ 地域に合った望ましい交通行動の普及・定着

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 3-1 公共交通利用率	27.8%	27.8%以上	計画更新時

目標④ 従来の取組主体の枠組みを超えて参画・連携できる体制の構築

指標	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
指標 4-1 3市町連携した施策実施数	0	31	計画更新時
指標 4-2 路線バスの収支率	77.12%	77.12%	毎年
指標 4-3 公共交通への公的資金投入額	214百万円	302 百万円	毎年

(1) 目標① 交通モードの役割に応じた最適なネットワークの形成

● 指標 1-1 住民 1 人当たりの公共交通利用回数

項目	現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
i 鉄道	26.7(回/年・人)	26.7(回/年・人)	毎年
ii 路線バス	32.8(回/年・人)	32.8(回/年・人)	毎年
iii 地域内交通	0.07(回/年・人)	0.07(回/年・人)	毎年
iv 一般乗用タクシー	9.7(回/年・人)	9.7(回/年・人)	毎年

■指標の設定理由

公共交通機関の利用状況を測るために設定します。公共交通全体の交通利用の実態を把握し、地域内の交通サービスが適切に提供されているか、交通結節点が活用されているか、利便性が高いか等について評価します。

なお、県全域で公共交通の利用者数が減少している理由の一つとして人口減少が挙げられますが、公共交通施策では人口減少に対して直接的な対策を講じることは困難です。そこで、「住民 1 人当たり」の指標を採用することで、人口減少による影響を極力排除し、公共交通の利用状況をより正確に把握できるようにしました。

■指標の算定方法

i 鉄道

・「住民 1 人当たりの公共交通利用回数（鉄道）」は、「鉄道駅の年間利用回数」を「地域の総人口」で除した数値です。

・「鉄道駅」は、交通結節点として位置付ける、地域内交通と地域間交通の円滑な接続の拠点となる以下の駅を対象とします。なお、無人駅は除きます。

盛岡市【6 か所】：（J R）盛岡駅/岩手飯岡駅 （I G R）青山駅/厨川駅/波民駅/好摩駅

滝沢市【2 か所】：（I G R）滝沢駅/巢子駅

矢巾町【1 か所】：（J R）矢幅駅

※「J R」は「東日本旅客鉄道株式会社」、「I G R」は「I G R いわて 銀河鉄道株式会社」が管理する駅を示します。

・なお、収集できるデータは「鉄道駅の 1 日当たりの乗車人員（J R）又は乗降人員（I G R）」であるため、「年間」に換算するために 365 を乗じました。また、I G R のデータは「乗降人員」のデータのため、「回数（1 往復で 1 回）」に換算するために利用者は同じ駅で乗降していることを前提として 2 で除します。この数値を「鉄道駅の年間利用回数」とし、「表 令和 5 年度年間利用回数（鉄道）」のとおり整理します。

表 令和5年度年間利用回数（鉄道）

鉄道駅	利用回数 (人・回/年)
JR盛岡駅	5,877,230
JR岩手飯岡駅	777,085
IGR青山駅	583,088
IGR厨川駅	545,128
IGR好摩駅	265,173
IGR渋民駅	104,025
IGR滝沢駅	467,018
IGR巢子駅	172,098
JR矢幅駅	856,290
合計	9,647,133

- ・「地域の総人口」は、盛岡市、滝沢市、矢巾町の人口の和とします。

表 令和5年度地域の総人口

自治体	人口 (人)
盛岡市	280,286
滝沢市	54,933
矢巾町	26,341
合計	361,560

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（鉄道）」は次のとおりです。

表 令和5年度住民1人当たりの公共交通利用回数（鉄道）

項目	数値
年間利用回数(千回/年)	9,647
都市圏人口(千人)	361
1人当たり年間利用回数 (回/年・人)	26.7

ii 路線バス

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（路線バス）」は、「路線バスの年間利用回数」を「地域の総人口」で除した数値です。

- ・対象を選定する上での考え方は以下のとおりです。

運行形態：路線バス事業者が運行する路線バス

利用者：誰もが利用できるバス

区間：起点・終点のどちらかが都市圏内であり、かつ県外に出ない路線

- ・「対象を選定する上での考え方」を踏まえ、以下を対象とします。

路線バス：岩手県交通株式会社

岩手県北自動車株式会社

ジェイアールバス東北株式会社

- ・なお、収集できるデータは「年間輸送人員」であり、この数値を「路線バスの年間利用回数」とし「表 令和5年度年間利用回数（路線バス）」のとおりに整理します。

表 令和5年度年間利用回数（路線バス）

分類	利用回数 (人・回/年)
岩手県交通(株)	10,102,872
岩手県北自動車(株)	1,657,953
ジェイアールバス東北(株)	83,287
合計	11,844,112

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（路線バス）」は以下のとおりです。

表 令和5年度住民1人当たりの公共交通利用回数（路線バス）

項目	数値
年間利用回数(千回/年)	11,844
都市圏人口(千人)	361
1人当たり年間利用回数 (回/年・人)	32.8

iii 地域内交通

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（地域内交通）」は、「地域内交通の年間利用回数」を「地域の総人口」で除した数値です。

- ・対象を選定する上での考え方は以下のとおりとします。

運行形態：自治体が運営するコミュニティバス、自治体が運営するデマンド型交通

利用者：誰もが利用できるバス

目的や地域が限定される「患者輸送バス」等は対象としない

区間：起点・終点のどちらかが都市圏内であり、かつ県外に出ない路線

- ・「対象を選定する上での考え方」を踏まえ、以下を対象とします。

自治体運営バス及びデマンド型交通：滝沢市 滝沢市福祉バス

矢巾町 矢巾町市街地循環バス、矢巾町予約型乗合バス

- ・なお、収集できるデータは「年間輸送人員」であり、この数値を「地域内交通の年間利用回数」とし「表 令和5年度年間利用回数（地域内交通）」のとおりに整理します。

表 令和5年度年間利用回数（地域内交通）

分類	利用回数 (人・回/年)
滝沢市福祉バス	2,600
矢巾町市街地循環バス	21,683
矢巾町予約型乗合バス	1,014
合計	25,297

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（地域内交通）」は以下のとおりです。

表 令和5年度住民1人当たりの公共交通利用回数（地域内交通）

項目	数値
年間利用回数(回/年)	25,297
都市圏人口(人)	361,560
1人当たり年間利用回数 (回/年・人)	0.07

- ・参考として、地域内交通が運行されている滝沢市、矢巾町において、それぞれの「年間利用回数」、「住民1人当たりの公共交通利用回数」を以下のとおり整理します。

表 滝沢市・矢巾町における令和5年度年間利用回数（地域内交通）

分類	利用回数 (人・回/年)	
滝沢市福祉バス	2,600	
矢巾町市街地循環バス	21,683	※矢巾町合計 22,697
矢巾町予約型乗合バス	1,014	

表 滝沢市・矢巾町における令和5年度住民1人当たりの公共交通利用回数（地域内交通）

項目	滝沢市	矢巾町
年間利用回数(回/年)	2,600	22,697
人口(人)	54,000	26,000
1人当たり年間利用回数 (回/年・人)	0.04	0.87

iv 一般乗用タクシー

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（一般乗用タクシー）」は、「一般乗用タクシーの年間利用回数」を「地域の総人口」で除した数値です。
- ・「一般乗用タクシー」は、都市圏内に登録されている一般乗用タクシーの法人・個人事業者を対象とします。
- ・なお、収集できるデータは「年間輸送人員」であり、この数値を「一般乗用タクシーの年間利用回数」とし「表 令和5年度年間利用回数（一般乗用タクシー）」のとおり整理します。

※「年間輸送人員」は岩手運輸支局が作成している資料のうち「タクシー・ハイヤー」の項目を参照しました。岩手県内において「ハイヤー」の稼働実績はないことから、当計画においては「ハイヤー」を除き「一般乗用タクシー」の表記としました。

表 令和5年度年間利用回数（一般乗用タクシー）

分類	利用回数 (人・回/年)
法人 盛岡市	3,196,895
法人 滝沢市	55,907
法人 矢巾町	112,234
個人 盛岡市	113,999
個人 滝沢市	28,455
個人 矢巾町	7,860
合計	3,515,350

- ・「住民1人当たりの公共交通利用回数（一般乗用タクシー）」は以下のとおりです。

表 令和5年度住民1人当たりの公共交通利用回数（一般乗用タクシー）

項目	数値
年間利用回数(千回/年)	3,515
都市圏人口(千人)	361
1人当たり年間利用回数 (回/年・人)	9.7

■目標設定の考え方

現在のサービスレベル及び利用者数の維持を目指し、「維持」を目標とします。

● 指標 1-2 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合

現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
79.9%	79.9%	計画更新時

■指標の設定理由

鉄道・路線バス・地域内交通へのアクセスが可能な地域に居住する人口を明確にするために設定し、公共交通サービスの提供状況を評価します。

この指標により、地域の交通格差の是正や、交通弱者への対応についての課題を明確にします。

■指標の算定方法

- ・「鉄道・路線バス・地域内交通利用圏」を、鉄道は鉄道駅から半径 800m 以内、路線バス・地域内交通はバス停・乗降場所から半径 300m 以内として設定します。なお、「地域内交通」は滝沢市福祉バス、矢巾町予約型乗合バスが該当します。
- ・利用圏内に居住する人口は以下のとおりです。なお、算出に当たっては国勢調査の人口を使用しました。

表 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口（単位：人）

年度	鉄道	路線バス	地域内交通	全体
令和 2 年	92,042	268,105	67,067	298,219
(参考)平成 27 年	93,976	273,756	66,972	304,146

- ・計測時点の国勢調査による都市圏内の人口は以下のとおりです。

表 国勢調査による都市圏内の人口

年度	都市圏(人)
令和 2 年	373,366
(参考)平成 27 年	380,772

- ・鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合は以下のとおりです。

表 鉄道・路線バス・地域内交通利用圏人口割合

年度	割合
令和 2 年	79.9%
(参考)平成 27 年	79.9%

■目標設定の考え方

- ・現在のサービスレベル及び利用者数の維持を目指し、「維持」を目標とします。

(2) 目標② 安心・快適に利用できる公共交通サービスの構築

● 指標 2-1 公共交通利用者の満足度

現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
29.6%	35.6%	計画更新時

■指標の設定理由

地域住民や利用者が公共交通サービスに対して感じる利便性や快適さを測定するために設定し、サービスの質や利用者のニーズに応えられているかを評価します。

この指標により、サービスの改善点やさらなる充実のための課題を明確にします。

■指標の算定方法

- ・盛岡都市圏で実施する公共交通に係るアンケートにおいて、設問「現在の公共交通サービスを使いやすいと思いますか？」に対して「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合とします。
- ・「令和5年度 盛岡都市圏（盛岡市・滝沢市・矢巾町）の公共交通に関するアンケート調査」によると、現状値は 29.6%となっています。
- ・なお、通勤・通学等の公共交通利用「あり」「なし」で分類した満足度の現状値は次のとおりです。

表 満足度の現状値（令和5年度アンケート）

項目	公共交通利用あり	公共交通利用なし	全体
そう思う	8.9%	3.7%	6.0%
ややそう思う	30.0%	23.7%	23.6%
そう思う＋ややそう思う	38.9%	27.4%	29.6%
あまりそう思わない	36.7%	40.7%	34.9%
そう思わない	21.9%	26.9%	24.7%
無回答	2.6%	5.0%	10.8%

■目標設定の考え方

「岩手県地域公共交通計画」（以下「岩手県計画」という。）において、「【指標4】県民意識調査における公共交通満足度」が設定されています。当指標では、現状値（令和4年度（2022年度））が「2.6点/5点満点」で、目標値（令和10年度（2028年度））が「2.9点/5点満点」です。

この目標を達成するには、県民意識調査の該当する設問において「満足できる状態」「やや満足できる状態」の回答割合を6%程度向上させる必要があります。岩手県計画は5年間の計画期間で6%の向上を目指しているため、当指標においても「そう思う」・「ややそう思う」の回答を6%向上させることを目標とし、35.6%を目標値として設定します。

(3) 目標③ 地域に合った望ましい交通行動の普及・定着

● 指標 3-1 公共交通利用率

現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
27.8%	27.8%以上	計画更新時

■指標の設定理由

地域の移動手段における公共交通の利用割合を測定するために設定し、交通行動の普及・定着の度合いを評価します。

■指標の算定方法

- ・盛岡都市圏で実施する公共交通に係るアンケートにおいて、設問「通勤・通学時、自宅からの交通手段」に対して「鉄道（ＪＲ・ＩＧＲ）」「路線バス」「市町で運行するバス等」「一般乗用タクシー」と回答した者の割合とします。
- ・「令和５年度 盛岡都市圏（盛岡市・滝沢市・矢巾町）の公共交通に関するアンケート調査」によると、公共交通利用率は「行き」で 27.3%、「帰り」で 27.2%、「合計（行き帰り）」で 27.8%です。
- ・なお、「通勤・通学以外の日常の移動」における公共交通の利用状況は以下のとおりです。

表 日常における公共交通の利用有無

選択肢	比率(%)			
	鉄道	バス	タクシー	自家用車
利用する	44.0	31.3	22.2	76.0
利用しない	40.4	52.4	62.6	7.3
無回答	15.6	16.4	15.2	16.7

表 日常における公共交通の利用頻度

選択肢	割合(%)			
	鉄道	バス	タクシー	自家用車
ほぼ毎日	0.9	2.1	0.9	34.7
週に数回	0.8	5.1	1.4	41.8
月に数回	14.8	26.6	19.5	16.3
年に数回	77.3	58.9	67.0	2.1
無回答	6.2	7.3	11.2	5.2

■目標設定の考え方

各種施策により、現状値からの向上を目指します。

(4) 目標④ 従来の取組の枠組みを超えて参画・連携できる体制の構築

- 指標 4-1 3 市町連携した施策実施数

現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
0	31	計画更新時

■指標の設定理由

3 市町が連携した施策を実施できているかを測定するために設定し、盛岡都市圏としての連携体制が構築されているか評価します。

この指標により、3 市町が協力して施策を進めることで、交通網の整備や利便性の向上、効率的な資源配分が可能となっているかの課題を明確にします。

■指標の算定方法

3 市町が連携して実施する施策のうち実施状況が「実施」「完了」に位置付けられる施策数を測定します。

■目標設定の考え方

当計画において令和 11 年度（2029 年度）に「実施」「完了」を予定している都市圏施策の実施事業数を目標値として設定します。

● 指標 4-2 路線バスの収支率

現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
77.12%	77.12%	毎年

■指標の設定理由

利便性・持続可能性の高い地域公共交通ネットワークを実現するために設定し、評価します。

この指標により民間事業者の収支バランスを把握し、自治体として必要な支援や施策を検討します。

■指標の算定方法

- ・収支率は、盛岡都市圏内を走行する路線バスの「経常収入」を「経常費用」で除した数値です。
- ・対象を選定する上での考え方は以下のとおりとします。

運行形態：路線バス事業者が運行する路線バス

利用者：誰もが利用できるバス

目的や地域が限定される「患者輸送バス」等は対象としない

区間：起点・終点のどちらかが都市圏内であり、かつ県外に出ない路線

- ・「対象を選定する上での考え方」を踏まえ、以下の路線バス事業者の路線を対象とします。

岩手県交通株式会社

岩手県北自動車株式会社

ジェイアールバス東北株式会社

■目標設定の考え方

人口減少によって利用者及び収入の減少が見込まれますが、利用者を増やす取り組みによって収入を増やすと共に、ネットワークの最適化や各種施策によって支出を抑えることにより「維持」を目標とします。

● 指標 4-3 公共交通への公的資金投入額

現状値(R5)	目標値(R12)	確認時期
214百万円	302 百万円	毎年

■指標の設定理由

公共交通の維持・改善に向けた公的な財政支出の規模を測定するために設定し、金額や増減を踏まえた施策の有効性や改善点を評価します。

■指標の算定方法

各市町が公共交通に対して投じた公的資金のうち、交通事業者に対し直接に補助・支援をしているもの及び自治体が運営する公共交通に係るものの総額とします。

なお、当指標に係る各市町の事業は以下のとおりです。

表 各市町の事業

自治体	現状値(R5)における項目	目標値(R12)における項目
盛岡市	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金
	まちなか・おでかけバス事業補助金	まちなか・おでかけバス事業補助金
	玉山地域列車おでかけきっぷ事業補助金	玉山地域列車おでかけきっぷ事業補助金
	広域生活路線維持事業補助金	広域生活路線維持事業補助金
	ノンステップバス導入等補助金	ノンステップバス導入等補助金
	スクールバス事業委託料※	スクールバス事業委託料※
	患者輸送事業委託料※	患者輸送事業委託料※
		路線バス運転士雇用促進支援金 地方バス路線存続支援金
滝沢市	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金	いわて銀河鉄道経営安定化基金負担金
	広域生活路線維持事業補助金	広域生活路線維持事業補助金
	福祉バス委託料	福祉バス委託料
		路線バス運転士確保支援金 地方バス路線存続支援金
矢巾町	市街地循環バス運行委託料 (コミュニティバス)	市街地循環バス運行委託料 (コミュニティバス)
	予約型乗合バス運行委託料 (デマンドバス)	予約型乗合バス運行委託料 (デマンドバス)
	広域生活路線維持事業補助金	広域生活路線維持事業補助金
		地方バス路線存続支援金

※利用者が限定されるため、公共交通に含まれるものではないが、実施施策検討により公共交通への転換の可能性があることから計上しています。

■目標設定の考え方

現状値に、計画期間内の実施事業に要する想定 of 公的資金投入額を付加し、設定します。